SDGs新聞	株式会社 明治
メキシコ合衆国　希少なカカオを、次に伝える。	

SDGsラジオを読んでみよう！

チョコレートの原料、カカオと言えば、どんな色を想像しますか？
なんとメキシコ合衆国には、白いカカオ、「ホワイトカカオ」という品種があるんです。
このホワイトカカオは、とても希少で、生産量もごくわずか。
味も香りもとても良く、ホワイトカカオで作られたチョコレートは世界的な賞を受賞しています。
食品会社の明治は、世界中にあるカカオの産地を支援するプロジェクト「メイジ・カカオ・サポート」の一環として、ホワイトカカオを生産する農園のサポートにも取り組んでいて、生産量を増やすことに加え、憩いの場を作ったり、インターネットの通信環境を整備したり、さまざまな活動を行っています。
カカオ農園を取り巻く環境をもっと良くして、ホワイトカカオの生産をお手伝い。
ホワイトカカオを使ったチョコレートが身近になった際には、手に取って、産地を応援してみるのもいいですね。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

メキシコ合衆国（以下「メキシコ」）は、北アメリカ南部に位置する面積約196万㎢（日本の約5倍）・人口約1億3000万人（日本とほぼ同じ）の国で、北はアメリカ合衆国と接していますが、かつて植民地支配されていたスペインの影響が、今も言語や文化面などで根強く残っています。また7～13世紀にかけて栄えたとされるマヤ文明最大の都市・チチェンイッツァなど、当時のすぐれた文化を伝える古代遺跡もたくさんあり、その多くは世界遺産にも登録されています。産業は、豊富な地下資源をいかした鉱業が盛んで、銀の産出量は世界第1位です。また農業や牧畜も国の経済を支えています。

ホワイトカカオ・イメージ／公園の様子
（明治公式HPより）

2006年から明治では、西アフリカや中南米、アジアにあるカカオの産地を支援するために、「メイジ・カカオ・サポート」という取り組みを進めています。これは、高品質なカカオを生産し続けられるよう、カカオ農家をサポートする取り組みで、スタッフが世界各国の産地まで足を運び、現地が抱えるさまざまな課題に合わせた支援を行っています。メキシコに向けては、カカオ農家の子どもたちが通う小学校にインターネット設備を設置したり、地域交流の場所として、頑丈な竹を使った公園を作ったりなど、農園地域の活性化につながる支援を行っています。また、現在は「ホワイトカカオ」という、わずかしか生産できない白いカカオにも着目し、より安定的な生産に向けたさまざまな支援を進めることで、SDGsの達成に貢献しています。

キーワード

植民地

自国民を移住させるために政治的・経済的に支配した地域のことです。

マヤ文明

紀元前1000年頃から16世紀頃まで、現在のメキシコの南東部にあるユカタン半島を中心に栄えた文明です。

ホワイトカカオ

病害虫に対する抵抗力が弱く、栽培が難しいため生産量が少ないカカオ。その割合はカカオ総生産量の約0.002％しかなく「幻のカカオ」ともいわれています。

みなさんにできること！

メキシコが抱えている問題に目を向け、さらに理解を深め、なにができるか考えていきましょう。

おさらい

- メキシコはかつて植民地支配されていたスペインの影響が、根強く残っている。
- メキシコは鉱業が盛んで、銀の産出量は世界第1位。
- メキシコでは「ホワイトカカオ」という希少で、質の高いカカオが生産されている。

メモ

SDGsラジオ